



内定の有無で刺さるアプローチは違う

就活継続学生から見る

今後の動き方!

内定率と就活継続学生

図①

<5月1日現在の内定状況>

*「内定」には、内々定を含む

(%)

	全 体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定あり	70.2 (65.0)	65.3 (60.6)	68.7 (65.7)	75.2 (68.1)	76.5 (69.2)
内定なし	29.8 (35.0)	34.7 (39.4)	31.3 (34.3)	24.8 (31.9)	23.5 (30.8)

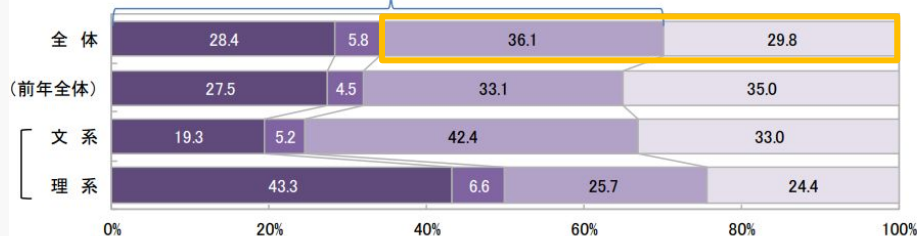
※()内は前年(5月1日)の数値

図②

<活動状況の分布>

■活動終了(就職先決定) ■活動終了(就職先未決定) ■活動継続(内定あり) □活動継続(内定なし)

内定あり



5月1日時点で、全体の**70.2%**の学生が内定を取得している。
前年の同時期の**65.0%**と比較すると**5.2pt**上回る。
特に理系学生の内定取得割合が高い。

同時期の内定取得者の割合が昨年より増えていることから早期化が進んでいることがわかる。(図①)

内定の有無に関わらず就活を続けている学生は全体の**65.9%**と半数以上は就活を継続している。(図②)

エントリー予定社数と今後の動き

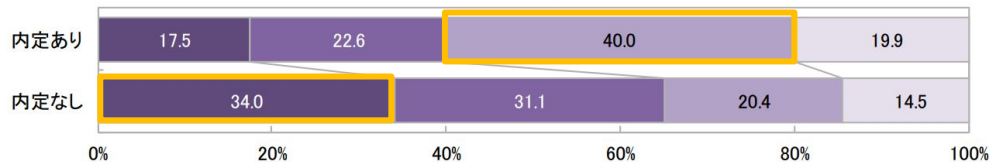
図①

	全体	内定あり	内定なし	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
現在選考中の企業数	4.0	4.1	3.8	4.2	4.4	2.9	3.5
今後のエントリー予定社数	2.3	1.5	3.1	2.7	2.3	1.8	1.2
今後の企業セミナー参加予定社数	1.8	1.1	2.6	2.0	1.9	1.4	1.2
今後のエントリーシート提出予定社数	2.2	1.5	3.2	2.7	2.3	1.6	1.6

＜今後の就職活動の方針・戦略＞

- 新たな企業を探しながら、幅広く持ち駒企業を広げていく
- これまで興味をもった企業（エントリーした企業）を中心に活動する
- 現在選考が進んでいる企業に絞って活動する
- 志望度の高い企業に絞って活動する

図②



就活を続けている学生のうち、今後のエントリー予定社数を見ると、内定取得学生は**1.5社**、内定未取得学生は**3.1社**である。（図①）

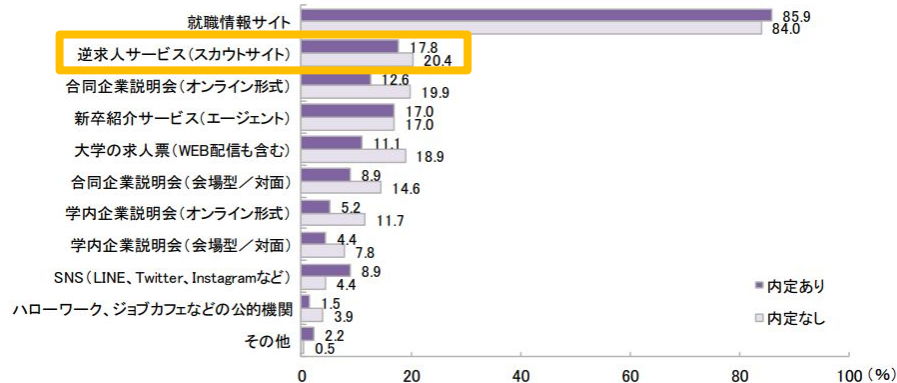
また、内定取得学生は「**現在選考が進んでいる企業に絞って活動する**」という回答が最も多く**40.0%**。一方で、内定未取得学生は「**新たな企業を探しながら、幅広く持ち駒企業を広げていく**」という回答が最多だった。（図②）

今後活発にエントリーしてくる層は、内定未取得学生が多くなりそうだ。



就活継続の学生の心理

＜新たな企業を探す手段＞



■就活継続学生の声

- ・内定がまだもらえず心に余裕がないのと、選考結果を通じて自己分析の甘さを痛感。
＜文系女子＞
- ・ES は通るが、面接で落ちることが何度かあり、自信を失いかけている。
＜文系男子＞
- ・本選考エントリーから面接通過率が悪くなり、苦戦している。
＜理系男子＞

就活を継続している学生が、今後新たな企業を探す手段として、**逆求人サービスを検討している割合が2番目に高いことがわかった。**

特に内定取得学生より内定未取得学生の方が、逆求人サービスを積極的に使うことが予測される。

また、「就活継続学生の声」より就職活動を継続している学生は選考が思い通りに進んでおらず、**焦りを感じていることがわかる。**

人事側も、焦らず1人1人に向き合って対応することが重要だ。

- ①全体の65.9%の学生が就活を続けている
- ②内定の有無で今後予定しているエントリー社数が異なる
- ③内定未取得学生はより積極的にスカウトサービスを使うことが予測される



応募学生の選考状況を把握して個人個人に合わせた対応をしましょう

➡ 次ページから今月のキミスカ24卒 活用ポイントをご紹介します！

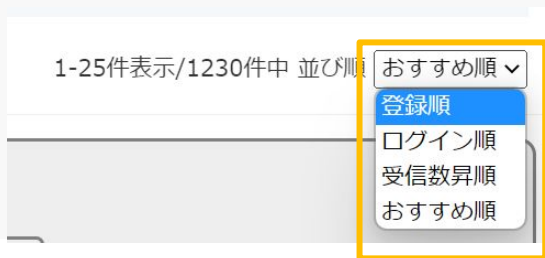
①内定未取得学生へのアプローチ方法

💡 内定までのスピード感をアップ

p4のスライドにもある通り、内定を持っていない学生の方が新たに企業を探す手段として**スカウト型のサービスを使う割合が高い**です。

そのため、登録日が浅い人にアプローチすることで内定を持っていない学生に接触できる可能性が高まります。
キミスカの学生検索機能では**登録日順で検索することも可能**なので、積極的な活用がオススメです！

内定を持っていない焦っている学生には**選考フローが短い**ことや**選考間のリードタイムが短い**ことも有効的です。



②内定取得済の学生へのアプローチ方法

💡 企業を知ってもらう機会を増やしましょう

株式会社ディスコが行った調査によると、内定企業に意思決定するのに必要な情報として下記のような回答をしています。

(一部抜粋)

【学生が感じる内定承諾意思決定に必要な情報】

- ・実際の職場の雰囲気や、対面で感じ取ることは必要だと感じる
＜理系男子＞
- ・具体的な業務内容とともに、どのような生活を送ることになるのかをイメージできるような人事面談があれば 嬉しく思います。
＜文系男子＞
- ・面接中に質問できなかった、給与や福利厚生などの具体的な説明がほしい
＜文系女子＞

学生の声から、入社後のイメージをどれだけ持てるかが重要であることがわかります。面接で質問しきれないという声もあるため、選考中に**面談や座談会を入れるなど、学生の不安や疑問を払拭する機会を作ることが大切です！**